



# 中村けん通信vol.7



## 【平成28年度予算】

西尾市の新年度予算（一般会計予算）は総額526億円で、主なものとして以下のような事業が挙げられます。

- ・平成29年3月のオープンを目指し、矢作古川左岸に、バーベキュー場や散策路、遊具などを備えた「親子で楽しめる」公園を整備。
- ・平日の午前9時から午後4時まで、市役所敷地内の会議棟で消費生活センターを運営。
- ・防犯カメラを設置する町内会に対し、補助金を交付（補助率は対象経費の2/3で、上限20万円）。
- ・民間事業者と連携した婚活イベントの開催をはじめとする、結婚支援事業。
- ・塩づくりを体験できる「西尾市塩田体験館（吉良饗庭塩の里）」が、吉良町白浜新田（吉良高校の近く）にオープン。

## 【県立特別支援学校】

県議会の3月定例会における山田たかお県議の質問に対し、特別支援学校（養護学校）の西尾市への設置について、前向きに検討していく旨の知事答弁がありました。特別支援学校の整備については、市の行政も議会も一丸となってこれまで要望してきたことであり、道筋が見えるところまで来たことに嬉しく感じています。

## 【西尾の観光】

観光施策を進めていく上で中核となる西尾市観光協会が、4月1日より一般社団法人となりました。県内では3例目で、これにより、ツアー企画などの収益事業を独自に行えるほか、組織としての信頼度も向上します。「西尾の抹茶」、「一色産うなぎ」、吉良温泉、由緒ある歴史、豊かな自然等々、西尾市が持つ観光資源の魅力をこれまで以上に発信し、多くの観光客を誘致できるよう、僕自身も全面的にバックアップしていきたいと考えています。

## 【新会派の結成】

議会と行政がなれ合っているだけでは、良い政治はできません。自由闊達に議論して議会としてのチェック機能を高め、切磋琢磨していくことでより良い市政の実現を目指すことを目的として、新会派「至誠クラブ」（6人）を結成しました。



初志を貫いて  
頑張ります！

## なぜ今、議会改革なのか？

近年、西尾市に限らず、全国の多くの自治体で「議会改革」が進められています。この背景としては、地方分権の進展により地方議会の役割の重要性が増しているということだけでなく、地方議会が、行政に対するチェック機能や、政策立案の機能を十分に発揮できていないという問題意識も影響していると考えられます。

西尾市議会では、市民の代表として常に西尾市全体を考慮した大局的な視点から意思決定するとともに、身近で開かれた議会や、民意や衆知を集め行動する議会の実現を目指し、この3年間、議会改革に取り組んでまいりました。

具体的な成果としては、政務活動費に関する事業報告書の公開、議案に対する各議員の態度や姿勢の公表、議会報告会の開催などを挙げることができますが、小手先だけの改革で終わってしまえば意味がありません。議会改革は、「目的」ではなく「手段」であるとともに、終わりのない取り組みです。

西尾市議会がこれまで以上に期待できる存在になったか、議会と行政がなれ合った関係になってはいないか、厳しい目で今後とも注目していただければ幸いです。

### 中村けんの活動 スナップショット

美しい環境を育む会



救命講習



研修会での質疑



ゆるキャラと一緒に



にしお駅伝 2015



イベントや井戸端会議等、どんな集まりでも結構ですので、下記まで気軽にご案内いただくと嬉しいです♪  
また、中村けん後援会にご入会いただける方は、電話またはメールで、氏名、住所、電話番号をお知らせください。

TEL : 090-5607-0423      メール : kenken\_nkmr@yahoo.co.jp

平成28年5月上旬発行      発行元 : 中村けん後援会      西尾市高落町屋敷27-5      ガーデンコートB102